

Water Crisis

解答 P9



1

- 1) 2 2) 1, 2, 3とも正答 3) 3

4) 例 The people in the picture are living in a developing country. They don't wear their shoes. They have a bucket on their heads. They are walking to the nearest river to collect water with the bucket and also wash clothes, because they don't have enough clean water at home.

5) 例 世界的に深刻になっている水不足の問題について、私たちの日々の生活で使う水の使い方や生活の仕方が、写真の人々の生活に悪影響を与えているかもしれない。

解説

- 1) 2) 人物の服装、素足、頭に乘せているもの等に注目する。その他、道路が舗装されていないことにも注目。
- 3) 頭の上に乘せているものから推測する。
- 4) 5W1H をもとに基本的に大きな部分から小さな部分の順で説明していく。ここでは、1)~3)の解答をもとに英文を「国」→「人物」→「身なり等」→「持ち物」→「行動」→「理由」の順番でつなげる。
- 5) 水不足の問題はひとつの国の問題ではなくグローバルな問題であること、地球上に住む一人ひとりの生活がそれぞれに影響していることに気づきたい。

解答 P10-12

Reading



2

- 2) A ウ B ア C イ 3) ① T ② F ③ F ④ T
- 4) ① T ② F ③ F ④ F 5) ① T ② F ③ F ④ F
- 6) a ウ b イ c ア

- 7) A) インドの学校の子どもたちが自分の水筒の飲み残した水を集めて、学校の清掃や植物の水やりに使った。
- B) インドの女性が、男性の力を借りることなく井戸を掘った。
- C) インドの17歳の少年が、母親のために専門家のアドバイスをもとに自力で家の裏庭に井戸を掘った。

8) 6



解説

- 1) 単語ひとつひとつの意味を確認しながら読むのではなく、チャンク（意味のまとまり）、例えば A few thousands of schoolchildren を一気に理解する読み方をしていき、5W1H (who, what, when, where, why, how) を中心に頭で内容を「映像化」できるような読み方を身につけていくと内容理解の伴った読み方ができ、その結果、読むスピードも向上する。
- 2) それぞれの英文のキーワードに注目する。
- A) schoolchildren / bottles / large drums
- B) women / wells
- C) a 17-year-old boy / well

- 3) ① 本文 3～5 行目 (Some 7,000 schoolchildren ~ water plants.) の記述について 5W1H をもとに主語＋動詞＋目的語の語順を意識しながら理解し、状況を判断する。
- ② 飲料水として使用の記述はない。to clean school premises and water plants の箇所に注目。
- ③ Some Pune schools have kept buckets at their exit points, which students empty their bottles into に注目。empty their bottles は「空になったボトル」ではなく、「(バケツに残りの水を入れて) ボトルを空にする」という意味。
- ④ ③と同じく、Some Pune schools have kept buckets at their exit points, which students empty their bottles into while leaving for the day. に注目。
- 4) ① They spend 6 to 9 hours a day to transport 30 to 40 liters of water on their heads, ignoring its health consequences like back pain and neck injuries. に注目。
- ② 実際にはこのような事実はあると思われるが、本文にはその記述はない。
- ③ 男性が井戸を掘ったという記述はない。
- ④ 本文 5～9 行目 (Similar is ~ on their own.) に注目。一人の女性ではない。
- 5) ① **c** a brief period of preparation for his pre-university exams に注目。
- ② 井戸は掘ったが、水汲みをしたという記述はない。
- ③ 受験勉強のためできなかったという記述はない。
- ④ Pavan Kumar took advice from a local hydrology expert and dug the well に注目。専門家の助言を得ただけで、専門家になったわけではない。
- 6) ア～を含んで イ～を超えて(その数自体は含まない) ウ～の代わりに エ～を理由として
- 7) エピソードを読むときは 5W1H をもとに情報を読み取り、特に主語にあたる「誰(何)が」と「どうした」にあたる動詞は必ず理解する必要がある。以下が、主語(主人公)を表す名詞と行為の中心となる動詞である。
- A) 主語: schoolchildren 動詞: saving / conserving
- B) 主語: the women in Khandwa district of Madhya Pradesh 動詞: dug
- C) 主語: A 17-year-old boy 動詞: has dug
- 8) 水の問題については、Goal 6 (Clean Water and Sanitation: 安全な水とトイレを世界中に) に書かれている。

A) Little Drops of Water Make a Mighty Ocean

①A few thousands of schoolchildren in the state of Maharashtra, where severe water crisis has caused life-taking drought, have set an inspirational example of water conservation. ②Some 7,000 schoolchildren in Pune are saving and conserving leftover water from their bottles in large drums at their schools. ③The collected leftover water is used instead of fresh water to clean school premises and water plants. ④Initiated by two Indian entrepreneurs Vedant Goel and Yusuf Soni, this water conservation campaign is one of the promising solutions to water crisis in India. ⑤Some Pune schools have kept buckets at their exit points, which students empty their bottles into while leaving for the day.

B) Where There is a Will There is a Way

①Rural women are the most-affected victims of water scarcity in India. ②They spend 6 to 9 hours a day to transport 30 to 40 liters of water on their heads, ignoring its health consequences like back pain and neck injuries. ③But a group of 20 women in rural backwaters of Kerala is hell-bent on changing the picture. ④They have dug more than 100 wells in a year to tide over water crisis in their villages. ⑤Similar is the story of the women in Khandwa district of Madhya Pradesh, who dug a well in just 40 days rather than blaming their fate or nature or god for water shortage in India. ⑥When some men came forward to help them, they chose to rewrite the destiny on their own.

C) Charity Begins at Home

①Like farmers, women are also affected by drought and water crisis in rural India. ②They walk miles to fetch water from remote sources. ③A 17-year-old boy in Settisara village of Karnataka has dug a 55-foot-deep well in the backyard of his home for his mother. ④Since his family couldn't afford to hire laborers for such an

小さな水のしずくが大海になる

①マハタシュトラ州は深刻な水の危機が命に関わる干ばつを引き起こしている地域であるが、そこに住む数千人の学童たちが水の保全に関する素晴らしい例を示してくれた。②プネー市の約7,000人の学童が自分たちの水筒の飲み残した水を残しておいて学校の大きいドラム缶に貯めている。③集められた飲み残しの水はきれいな水の代わりに学校の敷地清掃や植物の水やりに使われている。④この水の保全キャンペーンは2人のインド人の起業家であるヴェダント・ゴエル氏とユスフ・ソニ氏によって始められたが、インドにおける水の危機に対する有望な解決策のひとつである。⑤プネー市のいくつかの学校はバケツを出口においており、そこに生徒は帰りがけに自分の水筒の残った水を入れる。

意思のあるところに道は開ける

①インドでは田舎に住む女性が最も水不足の影響を受ける犠牲者である。②彼女たちは背中や首のケガのような健康被害を気にとめず、一日6時間から9時間かけて、30～40リットルの水を頭に乗せて運んでいる。③しかし、ケーララ州の田舎の僻地に住む20人の女性グループはがむしゃらになって状況を変えようとしている。④彼女たちは1年間で100を超える井戸を掘り、彼女たちの村の水の危機を乗り越えた。⑤同様の話として、マディヤ・プラデーシュのカンドワ地区の女性たちが、インドの水不足について、自分たちの運命や自然や神を恨むのではなく、ちょうど40日で井戸を掘ったことが挙げられる。⑥何人かの男性が助けを申し出たが、彼女たちは自分たちで運命を書き換えることを選んだ。

チャリティーは家庭で始まる

①農場主と同様に、インドの田舎では女性も干ばつや水の危機に影響を受ける。②彼女たちは何マイルも歩いて離れた水源地から水を汲んでくる。③カルナータカ州のセティサラ村に住んでいる17歳の少年は、母のために55フィート（約16.8メートル）の深さのある井戸を家の裏庭に掘った。④彼の家族はそのような骨の折れる仕事に人を雇う余裕がなかったので、パ

arduous work, Pavan Kumar took advice from a local hydrology expert and dug the well where water could be found. ⑤It took him 45 days to make this impossible possible, including a brief period of preparation for his pre-university exams. ⑥While clean drinking water is a luxury for millions of rural people, he put an end to water problem for his family.

ヴァン・クマールは地元の水問題の専門家から助言を得て、水の出そうな場所に井戸を掘った。⑤この不可能を可能にするのに45日間かかったが、事前大学入試のための短い準備期間もそこには含まれていた。⑥きれいな飲料水は非常に多くの田舎の人々にとっては贅沢なものであるが、彼は自分の家族のために水の問題に終止符を打った。

解答 P13



3

1) 日本は水が豊かな国と考えられがちであるが、実は水不足に悩まされており、日本各地で節水が奨励されているために節水に対する意識は高い。

2) 例 1 wash dishes

2 flush the toilet

3 water plants

4 wash clothes

5 drink

6 cook

7 clean the room

8 take a shower

3) 例 8 → 2 → 6 → 1 → 4 → 5 → 3 → 7

4) 例 1 We can use water in a bathtub to water plants after we take a bath.

2 We will take a shower in less than 10 minutes.

解説

- 1) 概要を把握するには、各英文の主語とメイン動詞（述部）を理解する必要がある。さらに、文と文をつなぐ語（ここでは、However, But, Because of, Today）に注目してそれぞれの英文のつながりと流れを意識すること。
- 2) 3) 日頃の生活の中で当たり前のように使っている水に注目する。
- 4) 必ずしも必要でない水の使い方をやめると、必要だがその量を減らすという2つの観点から考える。英文作成には can, will などの助動詞を使ってこれからの意思や思いを表現したい。